

図書館だより Serendipity

-セレンディピティ

2014（平成 26）年

9月24日発行 第30号

<http://www.nisiky-u.ac.jp/nagahara/library/>

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9

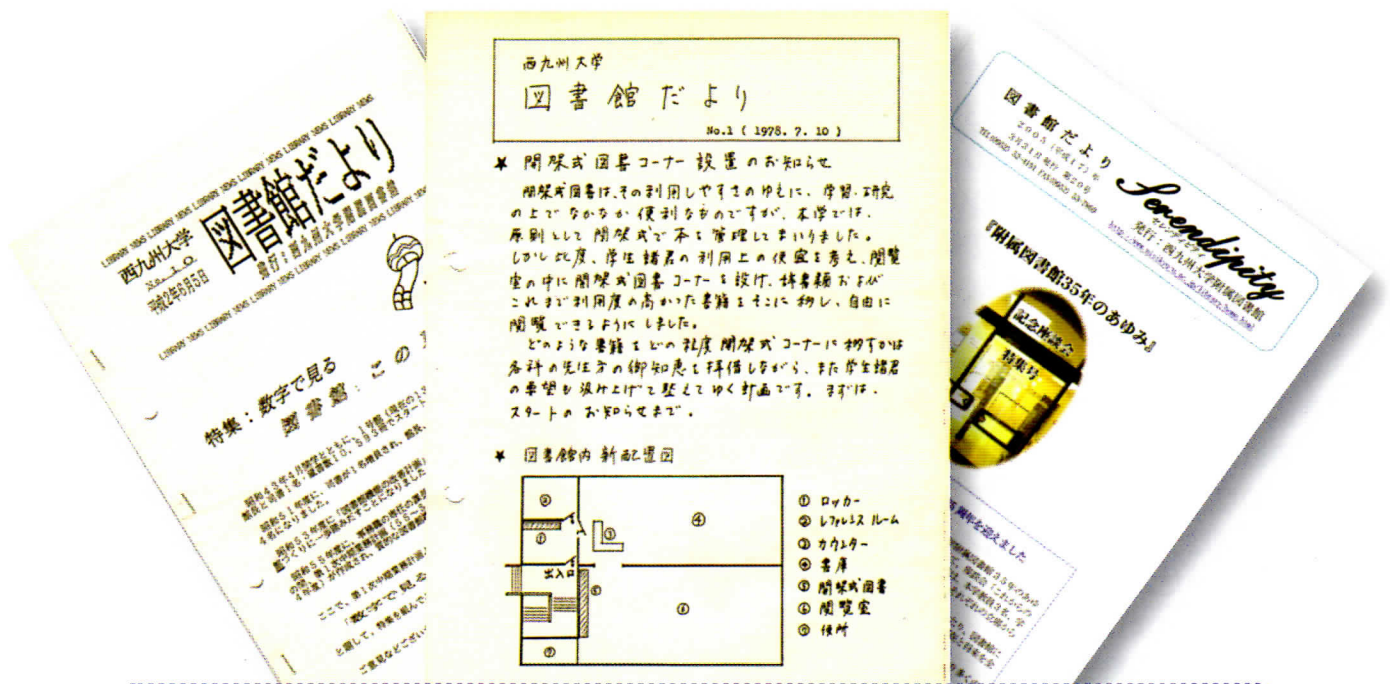
Tel0952-37-9299、Fax0952-53-7869

発行：西九州大学附属図書館

図書館だよりが第30号となりました！

「図書館だより Serendipity」が今号で第 30 号となりました。記念すべき第 1 号は 1978 年（昭和 53 年）7 月 10 日の発行です。当時巷では、キャンディーズが「普通の女の子に戻りたい！」と言って、後楽園球場（当時）で解散コンサートを行い、24 時間テレビ「愛は地球を救う」の放送が開始され、インベーダーゲームが流行っていました。

※左から第 10 号、第 1 号、第 20 号



目次

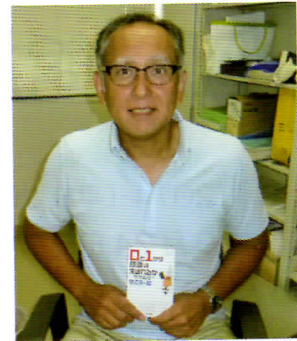
先生のおすすめの本 リハビリテーション学部長 教授 宮原 洋八	 P.1	シリーズ 図書館のお仕事	 P.5
第2次中期目標・中期計画総括 平成26年度アクションプログラム	 P.2	新任職員紹介	 P.6
選書ツアーを開催しました！！	 P.3	図書館利用状況	 P.7
		編集雑感	

先生のおすすめの本

『0と1から意識は生まれるか』

著者：橋元淳一郎（早川書房 2009 年）

リハビリテーション学部 学部長 宮原 洋八



今春より第3代リハビリテーション学部長に就任した宮原と申します。佐賀県の実年ソフトボール公式戦がはじまり、毎週、炎天下で練習をやっている関係で教員のなかでは一番日焼けしているのが私です。

さて、「私のおすすめの本」の紹介をします。標記の本はたまたまブックオフで見つけた文庫本ですが、その内容は人間の意識、宇宙のはじまりから終わり、時間について相対論、量子力学、エントロピーの法則を使い、問答形式で分かりやすく書いています。

その一節を紹介すると「時間が真の実在ではなく、人間の脳の産物である。われわれは、ある状態Aを観測して、さらに別の状態Bを観測するというとき、別の状態Bはつねにある状態Aより時間的に後であることを暗黙のうちに了解してしまっている。つまり時間の矢は、エントロピーの法則のうちにあるのではなく、それ以前にわれわれの意識のうちにあるのだ。」エントロピーの法則とは、元々、熱力学第一法則は「エネルギーは保存される」、第二法則は「孤立したシステムにおけるエントロピーは減少しない」というものからきている。熱の移動がない一般の不可逆過程にまで適応した法則をエントロピーの法則と呼ぶ。水の入ったコップがテーブルから落ちてこなごなに割れることはあるが、こなごなに割れたガラス破片が、周りに散らばった水を集めながら、テーブルの上にジャンプしてもと通りに戻ることは期待できない。エントロピー（無秩序）一般は、増えることはあっても減ることはないというわけである。エントロピーの法則によれば、ビッグバン以降宇宙は秩序から無秩序へと向かい、最後は熱的死を遂げるはずである。

本学図書館にある科学雑誌「サイエンス」によると宇宙は1つではなくマルチバース（多宇宙）説も登場している。最後に著者の橋元氏は、「量子重力理論が正しく構築されれば、脳の仕組みも正しく理解でき、意識の問題も解決できるだろう。」と述べている。

最近の学生は、理系離れて科学に興味がないそうであるが、冒頭に「人間の意識、宇宙のはじまりから終わり、時間まで」その解決案は哲学でも宗教でもなく物理学である。NHK Eテレの「白熱教室」で宇宙物理学者 ローレンス クラウスは、全宇宙のエネルギーを運動エネルギーと位置エネルギーで説明していた。高校時代、物理など何に役立つと思っていましたが、世の中の不思議は全て解決できると改めて思いました。

みなさんも図書館を大いに利用し、目から鱗を取り除きましょう。

宮原先生にちょっと質問！のコーナー

Q. 休日は何をされていますか。

A. 神埼周辺の安い不動産を見て回ること(築 40 年の一戸建てが 250 万円であり)

Q. 今ハマっていることは。

A. 図書館の新聞コーナーで読売新聞の人生相談(人間関係、恋愛問題、どうでもいい悩みを見ること。)

Q. 無人島へ行くとしたら、何を持っていきますか。(3 つまで)

A. 1. 豚、2. 鶏、3. 合瀬さん※図書館職員です(笑)(ノアの箱舟状態で生き残る)



第2次中期目標・中期計画 (平成22年度～平成25年度)総括

(図書委員会)



平成22年度より平成25年度までの中期目標・中期計画に基づきアクションプログラムを設定し、図書館の利用環境等の改善を行ってきた。まず、図書館の整備充実として、①図書館業務の効率化、②ICT型図書館への改善、③電子図書館化の推進（利用データベースの見直し）、④利用環境の改善の4項目を定めた。

①図書館業務の効率化及び②ICT型図書館への改善については、平成21年度より神埼並びに神園キャンパス図書館の所蔵資料を相互利用するため、神園キャンパス図書館に所蔵している未入力図書を計画的に遡及入力を行っており、両キャンパスの図書等を有効に活用している。なお、現在も遡及入力が続けている。次に③電子図書館化の推進（利用データベースの見直し）については、平成24年度から平成25年度にかけて、神埼図書館に設置されている学生用パソコン（23台）の入れ替えを行った。また、電子ジャーナルや各種データベースについては、現在、電子ジャーナル44種、データベース4種となっている。

④利用環境の改善については、特に平成23年度より学生選書ツアーを行い、学生の目線による選書を行い、選書した図書については、学生の紹介文を付け展示し、貸出しを行っている。このことにより、参加した学生はもとより、教職員が気づかない学生のニーズがわかるとともに、図書館への興味を引き出すことができた。

そして、地域社会との連携では、①図書館の地域開放、②地域コレクション等の充実の2項目を定めた。

①図書館の地域開放については、地域コレクション検討委員会主催による講演会を実施し、定員50名のところ、毎回定員を超える地域の方々の参加があり好評であった。

②地域コレクション等の充実については、平成17年度より地域貢献の促進を図るため地域コレクション検討委員会を設立し、予算の範囲内での地域コレクション資料の充実に努めている。

現在図書館は、神埼キャンパスに本館と分室、神園キャンパスに分館並びに西九州大学短期大学部附属図書館から構成されており、平成21年度より事務組織の一本化を図り運営を行っている。しかし、今なおすべてを一本化することはできていない。また、予算についても、学園予算の緊縮化に伴い、図書館に関する予算も厳しくなっており、図書等の購入はもちろん、施設設備の改修充実等も検討したいが、さらに効率化が求められる。

○全体としての達成度 81点/100点満点

平成26年度アクションプログラム (◎印は優先検討事項)

◎図書館の整備充実

- ①図書館業務の効率化
- ②ICT型図書館への改善
- ③電子図書館化の推進
- ④利用環境の改善

○地域社会との連携強化

- ①図書館の地域開放
- ②地域コレクション等の充実

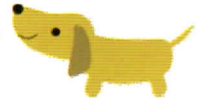


選書ツアーを開催しました！！



そもそも、選書ツアーってなに？

「選書ツアー」とは、学生の皆さんに図書館に置いてほしい本を、書店へ行って直接本を手に取り、内容を確認しながら選書するという企画です。選ばれた本は、展示コーナーを作り紹介しています！過去3回の選書ツアーを振り返ってみましょう！



○第1回選書ツアー H23.10.15(土) 紀伊國屋書店福岡本店

(参加者：健康栄養学科2名 社会福祉学科1名 リハビリテーション学科2名 大学院2名)



↑リーダーの使い方、説明中！

紀伊國屋書店では、選んだ本をバーコードリーダーで読みこみながら選書しました。



説明を聞くみんなの表情も真剣です！



みんなで集合写真



○第2回選書ツアー H24.12.15(土) 紀伊國屋書店福岡本店

(参加者：健康栄養学科1名 社会福祉学科2名 子ども学科4名)

第2回も紀伊國屋書店福岡店で開催！

リハビリテーション学科、大学院からの参加がなく残念でしたが、子ども学科から初めての参加がありましたし、留学生も参加してくれました。



選書後は、みんなで集合写真



選んだ本のバーコードを読み込みます。



○第3回選書ツアー H25.9.28(土) ジュンク堂書店福岡店

〔参加者：健康栄養学科2名 子ども学科2名 食物栄養学科1名〕
生活福祉学科2名 幼児保育学科2名

大学での開催は3回目ですが、短期大学部での開催は、初！ということで、短期大学部より5名の方に参加いただき、大学と合同での開催となりました。

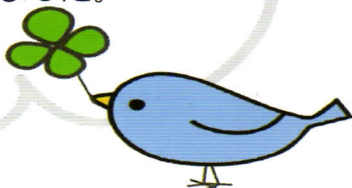


ジュンク堂書店福岡店
1階～4階までいろんな
ジャンルの本がありました。



佐賀駅バスセンターより
天神へ出発！！
ジュンク堂書店へ向かい
ます。

書店についたら、選書開始!!
それぞれの専門の本があるフロアに
散らばり、選書しました。



選書を終えて、みんなでパチリ 



今年度も11月に開催します！
日時：11月1日(土)
場所：ジュンク堂書店福岡店

詳細は図書館ホームページ・学内掲示板のポスターをチェック！
今年の選書ツアーは、学科・学年を超えた交流もできるかも?!
皆さんの参加をお待ちしています！





図書館のお仕事

みなさんは図書館の仕事にどのようなイメージがありますか？

図書館で働いている職員のことを「司書」といいます。司書がどのような仕事をしているのかを紹介します。

第1弾！ 配架・書架整理 編

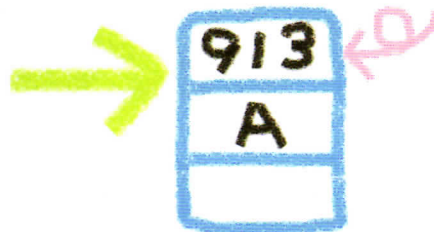
返却された本を本棚に戻し（配架）きれいに並べる（書架整理）お仕事です。

☆まずは、配架から・・・



ブックトラック

図書館には毎日たくさんの本が返却されます。次の人へ貸すために、本棚の正しい場所へ戻していきます。



分類番号

本の背についている、「分類番号」順に本を並び替えます。

分類番号を見ながら戻していきます。



本棚へGO!



☆次は書架整理！



本棚が乱れていると、本の破損や紛失に繋がりますので、きれいに整理していきます。

引っこんでいる本を前に出しながら、本棚の“ふち”に合わせて本を並べていきます。こうすると背のラベルが見やすくなります。



図書館では毎日丁寧な配架・書架整理を心がけています。

みなさんも、手にとって戻すところが分からなくなった本はブックトラックへ戻してくださいね。



新任職員紹介



昨年9月より

新しく仲間になった職員を紹介します。

少しでもみなさんに新しいメンバーのことを
知ってもらいたいと思い、5人のメンバーに
突撃インタビュー!!



《インタビュー内容》

- ①名前 ②就任日 ③主な担当業務 ④血液型
- ⑤誕生日占い（『パースディブック 366日の誕生日の
性格と相性と運勢』）
- ⑥好きな作家／本 ⑦好きな芸能人
- ⑧明日、地球が滅亡するとしたら何をする？
- ⑨無人島へ行くとしたら何を持っていく？（3つまで）



- ①宮木 薫 ②2013年9月 ③図書の発注・選書 ④O型
- ⑤「おしゃべり好きなカリスマ」 ⑥畠中恵／『しゃばけ』シリーズ
- ⑦福山雅治 ⑧寝たまま滅亡の日が過ぎるのをひたすら待つ
- ⑨ドラえもん

- ①石丸 志衣奈 ②2013年12月 ③雑誌の登録 ④A型
- ⑤「厳格だが愛情に満ちた教師」 ⑥東野圭吾／『時生（トキオ）』
- ⑦倅田来未・三浦翔平 ⑧思い残した出来る限りの事をしまくる
- ⑨キャンプセット？

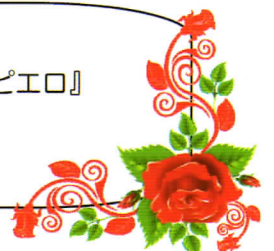


- ①糸山 清子 ②2014年4月 ③文献複写・相互貸借 ④O型
- ⑤「情熱をかき立てる指揮官」 ⑥山田詠美／『色彩の息子』
- ⑦斎藤工・マオ（シド） ⑧家族で最後の晚餐
- ⑨ナイフ・ライター・使い捨てコンタクト

- ①池田 李沙 ②2014年4月 ③紀要・寄贈雑誌の受入 ④O型
- ⑤「連山を踏破するアルピニスト」
- ⑥『紅茶をもっと楽しむ12ヶ月』／日本紅茶協会 ⑦小野大輔
- ⑧何もしない ⑨火を付けられる何か・ろ過機・ナイフ（多種多様）



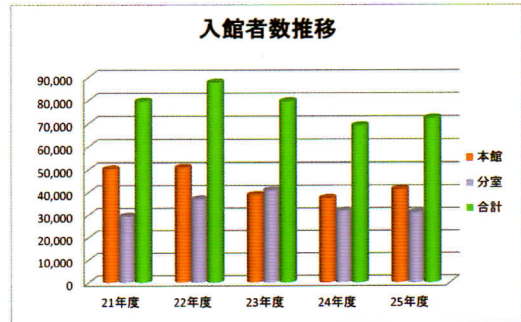
- ①江島 利枝 ②2014年8月 ③会計 ④A型
- ⑤「夢を紡ぎ出すリアリスト」 ⑥伊坂幸太郎／『重力ピエロ』
- ⑦岡田将生 ⑧いつも通りに過ごす
- ⑨ナイフ・ライター・メガネ



平成25年度図書館利用状況(神埼キャンパス)

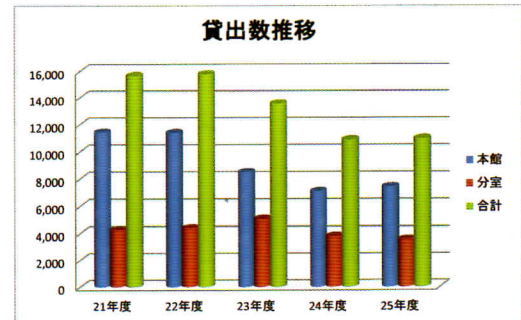
1.入館者数

	(単位：人)				
	21年度 (夜間利用)	22年度 (夜間利用)	23年度 (夜間利用)	24年度 (夜間利用)	25年度 (夜間利用)
本館	50,269 (7,000)	50,830 (6,786)	38,777 (5,474)	37,378 (4,733)	41,346 (6,148)
分室	29,322 (2,782)	36,913 (5,103)	40,820 (5,537)	31,713 (4,681)	31,001 (4,032)
合計	79,591	87,743	79,597	69,091	72,347
開館日数	258日	258日	258日	257日	250日
1日平均入館者数	308	340	309	268	289



2.貸出状況

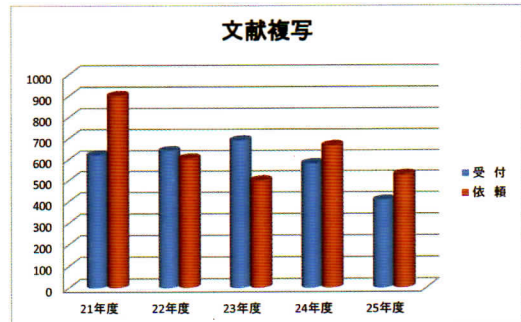
		(単位：冊)				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
本館	学生	7,701	7,533	6,119	5,922	5,863
	教職員	3,541	3,647	2,162	933	1,277
	学外者	185	211	211	236	277
	小計	11,427	11,391	8,492	7,091	7,417
分室	学生	3,545	3,636	4,449	3,351	3,032
	教職員	665	665	539	376	432
	学外者	36	93	85	67	88
	小計	4,246	4,394	5,073	3,794	3,552
	合計	15,673	15,785	13,565	10,885	10,969



3.相互協力

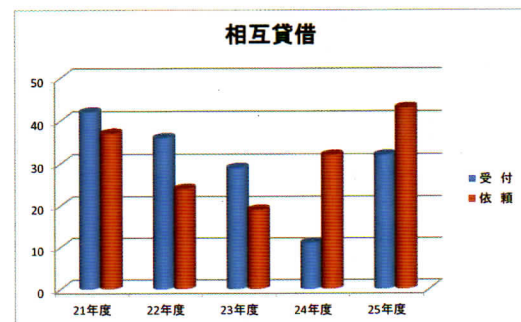
<文献複写>		(単位：件)				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受付		621	640	690	580	405
依頼		901	604	498	665	526

<相互貸借>		(単位：件)				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受付		42	36	29	11	32
依頼		37	24	19	32	43



4.図書館利用ガイダンス参加者数

		(参加人数：人)				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
健康	1年	34	117	102	106	134
"	4年	67	40	11	7	16
社福	1年	33	55	98	110	78
"	2年	100	70	66	103	90
"	3年	108	85	44	54	51
"	4年	42	57	40	29	18
リハビリ	1年	—	—	—	73	76
"	3年	9	—	—	—	—
"	4年	—	—	4	—	—
院 生		9	2	7	10	—
合 計		402	426	372	492	463



5.土曜日開館日数と入館者数

開館日数 16日(20日) 入館者数 153人(337人)

()は前年度数

編集雑感:昭和53年(1978年)に第1号の図書館だよりが発行され、今回で第30号となりました。第1号から36年が経ちました。この間、図書館関係者の試行錯誤により現在の形が出来上がりました。関係者のご苦勞を思いますと、ただただ頭が下がります。特に最初のころのご苦勞は現在とは比べ物にならないではないでしょうか。さて、今後どのように充実していくのか、当時の関係者の皆様の心意気と“温故知新”のことばを思い出しつつ、次の図書館だよりをどうしようかと、妄想している今日この頃です。